



2017年9月30日

玉川大學教育博物館



左側面・表面・右側面・裏面

目次

展覧会への招待	2
学内連携の教育活動	3
報告	4
資料をご寄贈いただきました	5
開館カレンダー・	
利用案内	6

土偶

御嶽堂遺跡出土 高7.7cm 最大幅5.0cm 厚2.3cm
縄文時代中期後半

これは、東京都町田市成瀬台に所在した御嶽堂遺跡から、唯一出土した土偶です。この遺跡は、区画整理事業に伴って1969～70年に玉川学園考古学研究会が発掘調査をしました。

土偶は、壊された状態で出土する例が大半ですが、これは両脚の踵が一部欠けているほかは、原状をとどめています。頭部に目鼻や口の表現はなされていないものの、乳房と妊娠中の腹部を思わせる突起がつくことから、女性像であることと体の表裏が判断できます。裏面に、「背面人体文」と呼ばれる大の字状に立つ人物のような文様を、沈線で描いているのが特徴です。

展覧会への招待

考古資料展 —玉川学園考古学研究会の軌跡—

～町田の考古学は玉川学園から始まった！～

玉川学園では、「全人教育」の理念の下、「労作教育」や「自由研究」という独自の教育活動を展開しています。1960年に中学生による自由研究考古学部が発足し、彼らの成長とともに1967年、玉川学園職員であった考古学者の浅川利一を指導者とする「玉川学園考古学研究会」に発展しました。この研究会は、玉川学園で学ぶ上は大学生から下は小学生まで、考古学に興味を持つ多様な年代が参加する非常にユニークな組織でした。

玉川学園が所在する町田市域は、1960年代からベッドタウン化が始まり、浅川は、町田在住の考古学研究者として市域の文化財保護に奔走していましたが、1960年代後半から玉川学園考古学研究会を率いて、自ら精力的に市内の遺跡の発掘調査を実施していきました。

この時期は、遺跡調査を行政主体で実施するようになる前で、町田を地盤とする研究集団でそれを担えたのは、玉川学園考古学研究会が唯一の存在でした。町田における地元密着の考古学的調査は、玉川学園関係者によって開始されたのです。

玉川学園考古学研究会では、縄文時代中期の集落・後期の墓域・後～晩期の環状積石（ストーンサークル）である田端遺跡（東京都指定史跡）や、土器捨て場からユニークな形状をしたものを含め多数の土器が発見された御嶽堂遺跡など、重要な遺跡の発掘調査を立て続けに手掛けていきました。

この度、当時の関係者の協力を得て田端・御嶽堂両遺跡の調査資料の再整理を行い、発掘調査報告書を刊行することができました。これを記念して、両遺跡の出土品の公開を中心に、調査を担当した玉川学園考古学研究会の活動の軌跡をたどり、さらに玉川学園における考古学研究の歩みや、研究会を生み出した自由研究での取り組みも紹介します。



御嶽堂遺跡 A 地点包含層出土深鉢
縄文時代中期（新道式） 高 24.6cm

◆会 期 2017年10月16日（月）～12月17日（日）

◆時 間 9:00～17:00（入館は16:30まで） 入館無料

◆休館日 10月21日（土）、22日（日）、11月18日（土）、19日（日）、12月3日（日）、10日（日）

◆会 場 玉川大学教育博物館第2展示室

◆主催：玉川大学教育博物館 後援：町田市教育委員会 協力：町田市立博物館・(株)玉川文化財研究所
関連行事

ミニシンポジウム 「町田の考古学は玉川学園から始まった！」 11月12日（日）13:30～15:00

学内遺跡見学会 「玉川学園の遺跡と丘めぐり」 11月3日（金・祝）13:30～15:00 申込制

ギャラリートーク 10月27日（金）、11月23日（木・祝）、12月6日（水）13:30～14:30

体験会 「4000年前の縄文土器にさわってみよう！」

10月28日（土）、11月26日（日）、12月9日（土）13:00～15:00

学内連携の教育活動 大学生への教育活動

－芸術学部「美術科・工芸科指導法Ⅰ」との連携－

教育博物館は、附置機関として玉川大学の教育活動に様々なかたちで貢献しています。今回紹介するのは、芸術学部開講科目「美術科・工芸科指導法」と連携した活動です。「美術科・工芸科指導法」は教員志望の学生が受講する科目で、美術教育の歴史を理解することを学修目標の一つにしています。教育博物館では明治以降の図画工作や美術の実物教科書を数多く所蔵していることから、こうした資料を授業のために特別提供しました。

2016年に収蔵庫や閲覧室を備えた博物館分室が完成したことから、今回は授業の場を従来の第一展示室から分室閲覧室に移しました。分室閲覧室は教科書資料を所蔵している第三収蔵庫の近くにあるため、資料運搬時の破損等のリスク軽減につながり、資料保存のうえで適しています。また、かなりのスペースを要する学修の場を展示室から閲覧室に移すことで、展示室の混雑防止につながるというメリットもあります。

この授業は学芸員による説明、学生による教科書資料の自由閲覧、教員による解説の三つからなります。冒頭で、学生は学芸員から資料の貴重性、取扱いにおける注意事項、学校教育と博物館教育の連携のあり方等の説明を聴き、博物館での学びの意識を高めます。次に、学生は明治以降の様々な時期の教科書を自ら手に取って閲覧し、発見したことや考えたことをホワイトボードに記述していきます。最後に指導教員はホワイトボードに書かれた学生の様々なコメントをもとにしながら、美術教育の歴史を説明します。

今日の学校教育において、博物館と連携した活動は強く求められています。こうした体験を通して、学生が美術科や工芸科の教室での指導技術のみならず、博物館を利用した学びのあり方についての理解を深めてもらえればと思います。



教員による解説



資料の閲覧

報 告

■駐日スペイン大使館「ガスパール・カサド原智恵子コレクション」展

2017年6月19日から30日まで、東京・六本木にある駐日スペイン大使館地下1階展示室にて「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」展を開催しました。これは、昨年に当館で開催した「ガスパール・カサド 没後50年 原智恵子没後15年記念祭」に、同大使館から後援名義をいただいたことがきっかけとなりました。

本年は、スペインが誇る音楽家・チェリストの「ガスパール・カサド生誕120年」にあたります。そこでスペイン大使館では、この偉大な音楽家を称え、多くの方々に知っていただくために「ガスパール・カサドへのオマージュ」を企画し、当館では、大使館側からの要望を受けて、展示会開催の協力を行い

ました。展示内容は、昨年度に当館で開催した特別展「デュオ・カサド」を再構成しました。ソリストとしてのカサド、原智恵子各々の歩みと、結婚後に「デュオ・カサド」として活躍した音楽活動の軌跡、夫妻の人間味が感じられる身の回りの品々の展示に、会場を訪れたお客様からも大変ご好評をいただきました。

展示会の初日には、スペインのチェリスト、アルド・マータ氏によるチェロコンサートが行われました。その後のレセプションでは、ゴンサロ・デ・ベニート・セカデス駐日スペイン大使と、本学の小原芳明学長がスピーチをされ、日本とスペインの今後の友好関係のますますの発展を願われました。11日間の会期中の来場者は、268名でした。



スペイン大使館 正面入口



会場入口



展示風景



展示風景

■カサド・原智恵子資料整理・調査委員会

2017年3月22日に、「ガスパール・カサド及び原智恵子関係資料整理・調査プロジェクト」委員会の第5回報告会を開催しました。カサド没後50年、原智恵子没後15年となる2016年は、コレクション目録の刊行と、データベースのウェブ公開を開始しました。これに加えて、特別展、記念シンポジウム、記念演奏会からなる記念祭を開催するなど、大きな成果を挙げることができました。これを一つの区切りとし、2012年から始まった本プロジェクトは、2016年度をもって終了しました。



■博物館実習

通信教育課程

2017年8月10日～16日 39名

通学課程

2017年8月17日～9月7日

2班各4日 16名

■資料の貸し出し

- 板橋区立郷土資料館（東京）「いたばし教育ヒストリー」（10/7～12/10）
学制 等 3点
- 町田市立国際版画美術館・足利市立美術館「浮世絵にみる子どもたちの文明開化」
二代歌川国輝作「東京第一大学区開成学校開業式ノ図」等 53点
町田市立国際版画美術館
（東京 10/7～11/23）
足利市立美術館（栃木 2018/7/14～9/2）

■人の動き

当館嘱託職員の白柳弘幸は、委嘱期間が満了になりました。（2017年3月31日付）

教育学術情報図書館から課長補佐葛貫奈緒子が転入し、分室の業務を担当します。人事部非常勤嘱託職員（専門スタッフ）として白柳弘幸が当館に出向勤務します。（以上、2017年4月1日付）

統計（2016年10月～2017年3月）

開館日数 138日 入館者数 2165名

収集

〔資料〕 日本教育史 64件

〔図書〕 和書 303冊 洋書 0冊

〔定期刊行物〕 和雑誌 33冊

洋雑誌 8冊

資料をご寄贈いただきました（順不同・敬称略 2017年2月～9月）

田沼 貞子 教育史関係資料 45点

関町 芳行 教育史関係資料 30点

郡司 潔 カサド・原関係資料 1点

川添 孝子 油彩画 1点

及川久美子 カサド・原関係資料 1点

貴志 豊和 教育史関係資料 1点

鈴木 達也 鈴木満作油彩画 8点

関根美和子 学園史関係資料 5点

杉山 武敏 教育史関係資料 1点

二田原阿里沙 東敦子関連資料 2点

渡瀬 恵一 教育史関係資料 3点

ありがとうございました

2017年度下半期 開館カレンダー

2017年10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

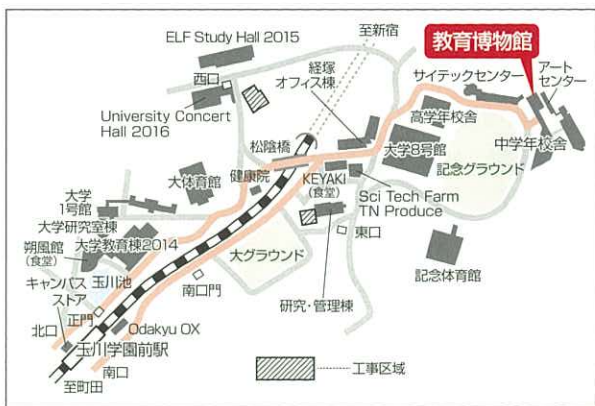
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日
 第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※ この予定は、大学授業・行事日程等により変更することがあります。
 詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門（南口）に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
 (展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)
- 入館料** 無料

博物館ニュース SHŪ No.49
 2017年9月30日
 編集・発行 玉川大学教育博物館
 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
 TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654
www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。